

面積: 135,659平方キロ
(日本の本州の約60%)
(全米50州中31位)

人口: 4,597,740人

(US Census Bureau (2024) (全米25位))

州都: バトンルージュ 愛称: ペリカン・ステート

ルイジアナ州概要

2025年12月現在
在ナッシュビル総領事館

政治

【州政治】

- 知事: ジェフ・ランドリー (Jeff Landry) (共)、2024年1月就任 (1期目)
- 議会構成: 二院制 (2025年12月現在)
上院議席数39 民主党10 共和党28 空席1
下院議席数105 民主党31 共和党73 空席1
- 内政状況:
保守色の強いルイジアナ州において、共和党が州議会の多数を占める中、ジョン・ベル・エドワーズ前州知事(民)は50%超の支持率を維持し、低失業率、州史上最大規模の投資を含む経済開発、無保険者の半減などを実現しながら、2期を務め上げた。
2023年10月の州知事選では、共和党のジェフ・ランドリー州司法長官が当選した。ランドリー州知事は銃規制、中絶、LGBTQ+をめぐり保守的立場を取る。
連邦下院において、スティーブ・スカリス院内総務(共)、2023年10月に議長に選出されたマイク・ジョンソン議員(共)が、いずれも同州選出議員である。また、2024年の選挙区割り見直しにより、新たに黒人多数区となった第6選挙区では、共和党現職が不出馬となり、民主党のクレオ・フィールズ議員が当選した。しかし、同区割りの合法性は現在連邦最高裁で審理中であり、是正が行われた場合には、民主党が議席を失う可能性もある。

【連邦政治】

- 大統領選挙人数: 8名
- 2024年大統領選挙における勝利政党: 共和党 (得票率60.2%)
- 連邦上院議員:
ジョン・ケネディ (John Neely Kennedy)(共)
ビル・カシディ (Bill Cassidy)(共)
- 連邦下院議員 (議席数6名): 民主党2名、共和党4名

経済

【州経済】 (2024年)

- 主要産業: 製造、金融・保険・不動産、行政、教育、専門サービス、小売り、建設(2024年)
- 名目GDP: 3,278.0億ドル (全米26位)
- 1人当たり個人所得: 61,332ドル (全米43位)
- 失業率: 4.5%(2025年7月) (全米平均4.2%、37位)
- 輸出額: 862.2億ドル
- 輸出品目: 石油・天然ガス、石油・石炭製品、農産物、化学製品、食品、鉱物・鉱石等
- 輸出相手国: 中国、メキシコ、オランダ、英国、カナダ、コロンビア、ドイツ、日本
- 経済状況:
ルイジアナ州の経済基盤は、天然資源の豊富なメキシコ湾の沿岸地域に立地するエネルギー、石油化学産業である。天然ガスの生産量は全米第3位、石油の生産量においても上位を占めている。州政府は経済の多角化を目指しているが、依然として、州経済は石油・天然ガス産業に大きく依存している。また、ミシシッピ川河口を始め、州内主要港の貨物取扱量は全米有数で、穀物を中心とした農産物の輸出量では全米の37%を占める。

【対日経済】 (2024年)

- 対日輸出額: 34億ドル
- 主要輸出品目: 農産物、石油・天然ガス、化学製品、石油・石炭製品、飲料・タバコ
- 日系企業関連拠点数: 約187社(2025年)
- 主な日系企業: シンテック(信越化学)、全農アメリカHD(旧・全農グレイン)、Continental Structural Plastics of Louisiana(帝人グループ)、ファイヤストーンポリマー(ブリヂストングループ)、CMP Coating(中国塗料)、UBE等

日本との関係

【要人往来】

- 25年12月、ムリル司法長官がAGA(Attorney General Alliance)一行とともに訪日。
- 23年3月、エドワーズ州知事が経済ミッションを率いて訪日。
- 16年4月、17年3月、18年3月、ピアソン経済開発長官が経済ミッションを率いて訪日。

【文化、広報関係】

- 2024年10月、島根県松江市・ニューオーリンズ姉妹都市提携30周年記念行事を開催。
- 2008年4月、ドナ・フレッシュ在ニューオーリンズ名誉領事任命。
- ニューオーリンズ日本協会(JSNO)は、米国内でも歴史が長い日本・日米協会の一つ。2018年に設立90周年を迎えた。2019年、ターナーJSNO会長が叙勲受章(旭日双光章)。
- 毎年10月にニューオーリンズ市ジャパン・クラブ、ニューオーリンズ美術館、当館の共催にてニューオーリンズ・ジャパン・フェストを開催。
- シャルメット高校が2023年にカケハシプロジェクトにて訪日。
- 州内の2校の大学、1校の高校等で日本語の授業が開設されている。
- 2016年、2018年及び2020年、ササカワ平和財団USA、全米日米協会連合会、JSNOの共催にてJapan-US Military Program (JUMP) 在日米軍経験者レセプション開催。(2022年はオンライン開催)
- 在留邦人数 (2025年10月時点): 約900人
- 姉妹都市関係 (1)

ニューオーリンズ市 島根県松江市(1994年)